

自然の恵み豊かな田代町



小畑リポーター(右)と田代町の広報担当大井さん

広報市民リポーターだより No.1

リポーター 小畑琢磨さん(田代町岩瀬)



冬の高陣場

田代町の歴史
縄文時代の石器群が早口川流域から出土。町内数力所から遺跡が発掘されている。室町時代には、長慶金山が開発される。安土桃山時代には、田代山神社が創建される。江戸時代より水路が作られる。町内各所で開墾事業が盛んになる。明治時代に入ると、羽州街道が廃止され新国道が開通。早口、長坂、外川原村が合併して早口村が、山田、岩瀬村が合併して山瀬村が発足する。また、大館・鷹巣間鉄道

田代町は、恵まれた自然との共存を図り、自然と調和したゆとりある生活を目指している町です。また、町の発展・成長のために、他の市町村同様に合併を繰り返し町は大きく成長してきました。そして、来年には更なる成長を目指して大館市と合併することとなります。大館の皆さんに田代町を少しでも知っていただきたいと考え、私のリポートは、田代町を紹介することにしました。田代町の歴史やイベント、特産品、施設、見所などをイラストと写真を中心にまとめてみました。

が開通し早口駅が営業開始。大正時代には、下台発電所で発電開始。早口・大淵岱間、森林鉄道14・1kmが開通する。昭和に入り、31年に早口村と山瀬村が合併し田代町となる。33年役場庁舎完成。田代森林組合発足。34年田代町農業共同組合発足。36年田代町商工会発足。41年町立田代病院落成。42年国道7号バイパス完成。43年田代中学校創立。47年大野コミュニティセンター完成。50年田代岳が県立自然公園に指定される。人工衛星ロケット用燃料燃焼試験場設置。51年総合開発センター完成。54年町



町の花(ミツガシワ)